

「新型インフルエンザ」発生時における 大阪・神戸ミセスの行動・意識調査

2009年6月

リビングくらしHOW研究所 < 大阪支社 >

調査概要

調査目的

5月16日、神戸で新型インフルエンザ感染者が確認された。学校からは子どもたちに自宅待機の指示、イベント中止も続々決定し、マスクなしでは外は歩けない状況となった。その時、ミセスたちがとった行動について、国内発生から1週間後に振り返りの調査を実施した。

調査期間

2009年5月28日(木)～6月1日(月)実施

調査方法

リビング新聞の読者組織リビング・パートナー(大阪・神戸)にアンケートをFAX

調査対象者

大阪・神戸圏在住の配偶者のいる女性(同居する未婚の子どものいる人)
回答数： 214人



5月16日、神戸で新型インフルエンザ感染者が確認されるや、学校からは子どもたちに自宅待機の指示、イベント中止も続々決定し、マスクなしでは外は歩けない緊迫感が一。その時、ミセスたちがとった行動は？ 国内発生から1週間後に振り返りの調査を実施した。

<買いに走った！>

トップ3はマスク、乾麺・インスタントラーメン、レトルト食品
 冷凍食品ではパスタ・炒飯類が人気

これまで災害などを想定して備蓄をしていたかを聞いたところ、備蓄をしていたのは半数(50.2%)。突如スタートした自宅待機モードで買われた備蓄品のベスト10は、**グラフ1**のとおりだった。マスク、乾麺・インスタントラーメンのトップ2は、以下に大差をつけている。ベスト10には入らなかったが、冷凍食品を見てみると、パスタ・炒飯類が16.4%でトップ。肉・魚料理(7.7%)、野菜(5.5%)を大きく引き離す結果になった。

パートまたはフルタイムで働く主婦よりも主婦専業の回答者のほうが旺盛に購入したものが、トップ10中実に8品目にも上った。日頃の買い物頻度の影響が考えられる。

第一子が小学生の家庭では、卵が29.2%、チーズ・ヨーグルトが16.9%と、全体に比べて10ポイント前後も高めのスコアに。このほか、肉類、ハム・ソーセージも高めの数値だった。

本当に外に出ない生活を想像すると野菜は困ると感じた。冷凍野菜では限界がある。ちょっとした薬味(ねぎ、しそなど)は家族菜園を始めた。(神戸市、52)

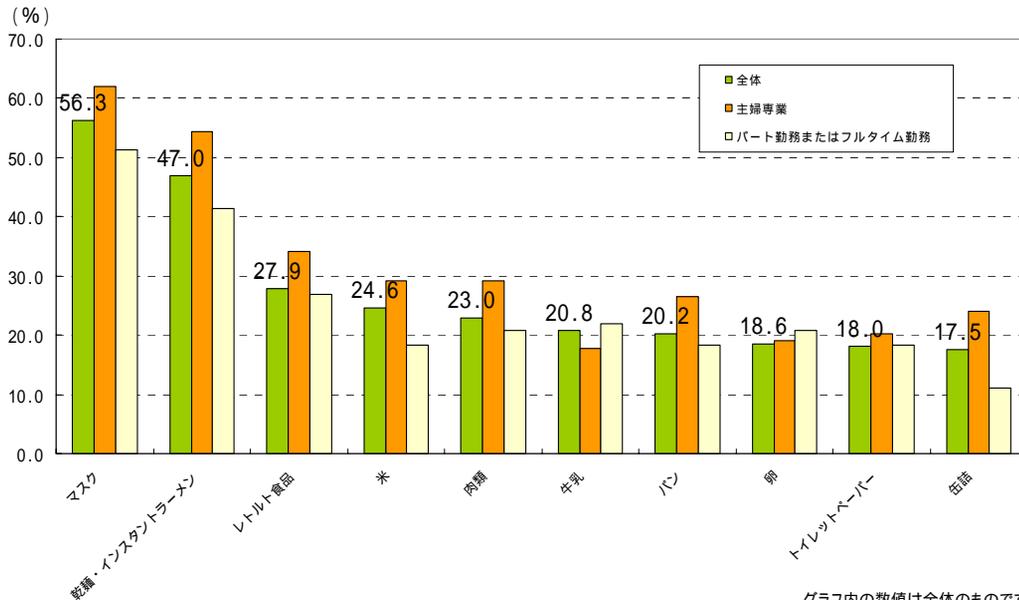
震災時同様に思ったのは、発生してからは品切れや値段が高くなったりするので、必要な物は常に備蓄しておくという事。(西宮市、37)

意外?なるほど! お役立ちアイデア

おなじみのものがお役立ちアイテムとして脚光を浴びた例がさまざま報告されたが、中には意外なアイテムも...

- 買い物になかなか行きにくかったので、**パン焼き器**が大活躍した。(芦屋市、35)
- 小麦粉**。子どもは男の子だが、退屈するとケンカも増えるので、お菓子やピザなどを一緒に作るようにした。買い物に出なくても、食べられるものが楽しくできた。(宝塚市、43)
- 我が家は**有機野菜の宅配**を週1回頼んでいるので、買い物に行けなくても、とりあえず10日分ほどの野菜は心配しなくてすんだ。(川西市、40)
- 加湿器。我が家の加湿器は古くて違う菌を出してしまいそうだったので、**美顔器**のスクリーンを代わりに出して使った。(茨木市、38)
- ケーブルテレビ**。子どもがずっと家において、テレビをずっと見ていた。ケーブルだとアニメばかりのチャンネルがあり、レンタルショップに行かずにすんだ。(神戸市、51)
- ジグソーパズル**1000ピース。子どもとゆっくり挑戦できた。(尼崎市、37)
- ちょうど1週間の学校閉鎖だったので、**プートキャンプ**のエクササイズを子どもと一緒にして、外出できないストレスを発散した。(吹田市、35)

グラフ1 備蓄を意識して買い込んだもの 複数回答。n = 183



<回答者プロフィール>

年齢: 30歳代36.0%、40歳代51.9%、50歳代12.1%。
 職業: 主婦44.3%、パート・アルバイト43.8%、フルタイム4.9%、その他6.9%。
 居住地: 神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、宝塚市、三田市、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、箕面市、高槻市、茨木市。

<調査実施> 暮らしHOW研究所大阪支社



<子どもが、ずっと一緒に家にいる！>

半数以上が、子どものストレス、食事に参加！

学校は1週間(場合によってはさらに1週間)の休校となり、子どもたちは自宅待機に突入した。子どもたちが出かけないと、どういう事態に陥るのか。グラフ2のとおり、焦点となったのは、子どものストレスと食事の世話。生活リズムをどう形作っていくかも悩みどころだった。パートやフルタイムで働く母親にとっては、子どもの生活リズムが群を抜いた困り事という結果だった。

子どもが外出できないため、私が買い物に出るだけでも行き先などを聞いてくる。(吹田市、44)

娘の学校に感染者が出たため、再度自宅待機になり、子ども自身が昼間家においてストレスいっぱいなので、私の帰宅後にエンドレスで不満を聞かされる。(神戸市、44)

中学・高校と年齢は高いが、ときどき叫んでいた。(神戸市、42)

子どもたちのパワーが有り余りすぎて、家が壊されそうだった。(吹田市、34)

なんといっても三度の食事。給食のありがたさが身にしみた。ずっと台所に立っている気がしたし、外に出られないので、子どもの気持ちが食に向かった気がした。(川西市、40)

子供が怖がり、まったく外に出たがらず、ベランダにすら出なかった。一日中家の中なので体力を持て余し、家の中で走り回っていた。また、学校に行くほどには疲れないので、時間になっても寝つけず、夜が遅くなり朝は起きれない...と悪循環であった。(芦屋市、37歳)

生活のリズムが乱れ、食事(特にお昼ごはん)が食べられなくなり、夕方にお腹が空いたりした。運動もしないからお腹が空かなくなった。(池田市、35歳)

朝から晩までずっと「勉強しなさい!」と言い続けたこと、先が見えなかったことがストレスに。(大阪市、45)

高3、高1の子供は予備校の自習室が閉鎖、勉強のリズムが狂い、小1の子は退屈で狭い家の中で1週間、親子とも息苦しかった。(茨木市、45)

学校の先生が家庭訪問に来てくれるのはよかった。学校に連絡することができて電話していたが、小学校はいつも通話中でつながらず、学校のホームページに何か出ているかと思っただが、多くが工事中でまったく意味がなかった。(神戸市、36)

小学生は課題がたくさん出ているので時間をつぶせたが、幼稚園の子は外で遊べない、マスクをいやがるなど、ストレスを強く感じていた。(神戸市、33)

こぞとばかり出された宿題は量も多く、しかもすべて自分でマルをつける自己完結スタイル。子どもは「学校なんていらんな。これで済むなら」とイラッとしていた。(豊中市、39)

とにかく兄弟げんかが絶えず、私も加わり3人でけんかしてしまった。(芦屋市、35)

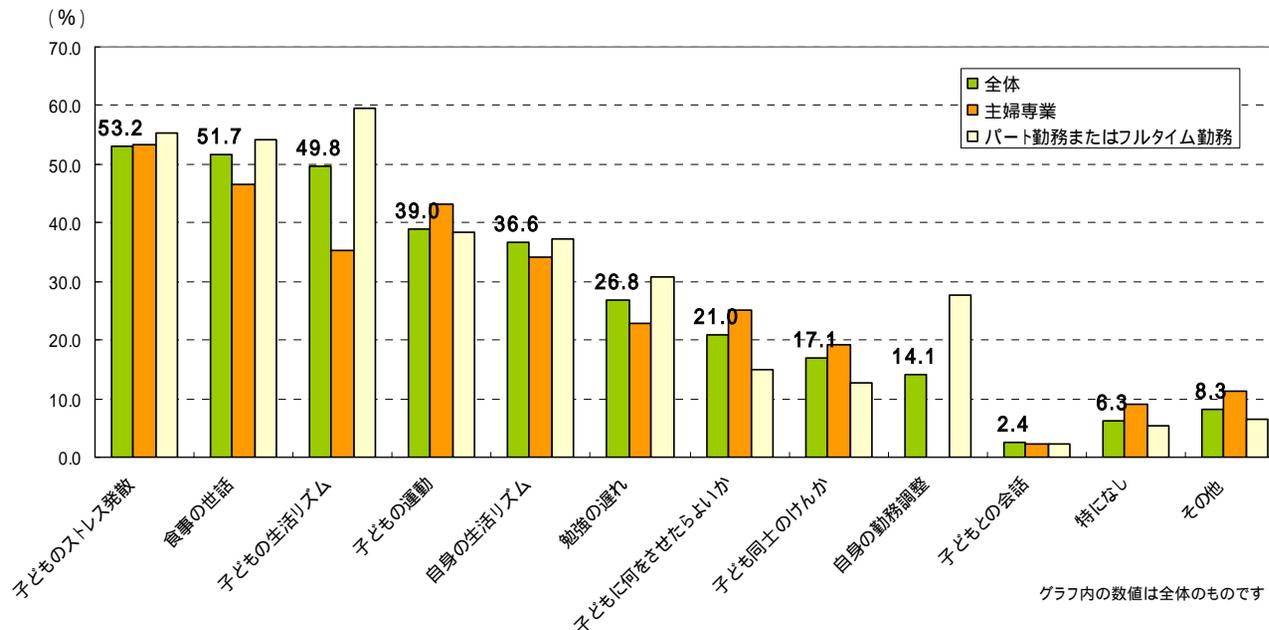
一日中家にいるので、子ども同士のケンカが絶えず、朝から晩まで仲裁していた。(茨木市、38)

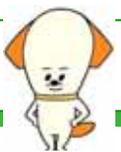
自分の時間が持たずにイライラした。家の中が片付かない。(神戸市、38)

外出禁止というだけで心理的に負担だった。子どもたちの「ヒマー」の声にイライラした。(高槻市、41)

子どもが家の中でダラダラしていると、どうしてもこちらの口調もきつく、けんか腰になってしまった。(西宮市、45)

グラフ2 子どもの自宅待機で困ったこと 複数回答。n = 205





< 公的機関等の対応 >
 マスコミ報道に違和感大
 主婦専門は全般的に高評価

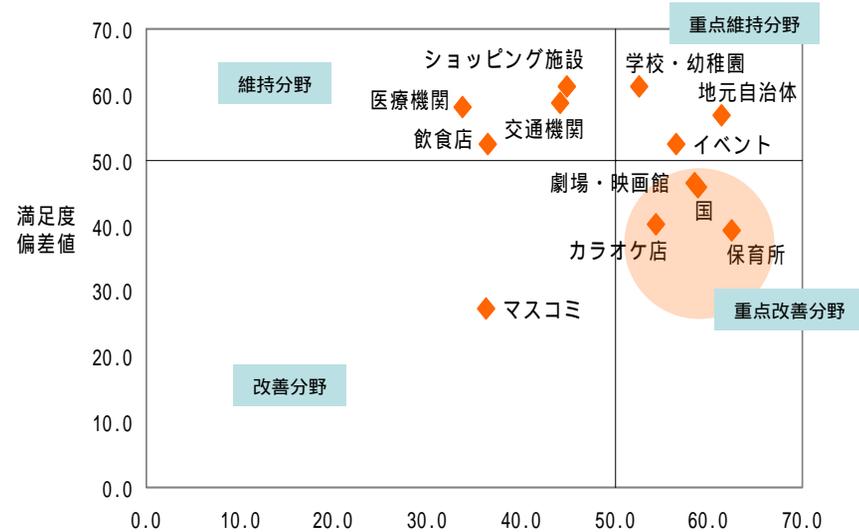
子どもの学校は休校、コンサートは中止、買い物に行ったら店員も全員マスク姿。どこまでの態勢が、どのくらい長く続くのだろう...

一週間の休校は、仕事を持つ母にとっては突然のことでとても困ったが、休校のお陰で、感染が今の程度で収まっていると思う。休校の効果は大きいと思う。(豊中市、38)
 学校名がマスコミに報道された学校に通う子どものいる親が、出勤停止。他市在住で校内でたった一人でも...は、やりすぎでは。(吹田市、47)

新型インフルエンザをめぐる公的機関等の対応ぶりについての評価を聞いた結果をまとめたのが右の図()。保育所、カラオケ店、劇場・映画館のほか、国も重点改善分野に入った。同じ行政でも、地元自治体への評価は高く、明暗が分かれた格好だ。
 マスコミ報道は今回調査した中で唯一、不満・違和感を覚えた人が、妥当・適切と感じた人よりも多かった項目。「マスコミ報道などに感わず、自分で判断するのもある程度必要と感じた」(池田市、42)
 各項目をDI値で比較したのが、表2。主婦専門のミセスに比べると、パートまたはフルタイム勤務のミセスのほうが、すべての項目において低い評価をしていた。学校・幼稚園については4割近く、イベント関連、地元の自治体、国では3割前後の開きだった。社会生活の制約がダイレクトに影響するからだろう。

= 各項目について満足度を聞き、CS分析を行った。

新型インフルエンザ発生後の対応についての満足度



総合的な満足度(各項目の満足度の平均値)への影響度偏差値

表 新型インフルエンザ発生後の対応 DI値

	交通機関	飲食店	ショッピング施設	劇場・映画館	医療機関	学校・幼稚園	地元の自治体	イベント関連	保育所	カラオケ店	国	マスコミの報道
全体	83.9	79.9	78.5	69.3	67.2	57.3	52.0	47.4	42.1	38.4	22.5	-26.2
主婦専門	85.1	82.5	86.3	77.8	72.2	77.5	67.1	64.6	50.0	41.9	39.5	-20.9
パート勤務またはフルタイム勤務	81.0	78.0	75.8	64.1	66.7	38.8	38.9	35.5	35.1	30.8	8.5	-29.9

DI値 (とても適切+まあ妥当)-(少し不満+かなり不満)の差

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430